



市民1000人委員会  
みんなで作るう ええまち堺

# 市政レポート第2号



市政を刷新し清潔な堺市政を取り戻す市民1000人委員会 編

～はじめに～

市政レポート第2号をお届けします。2020年2月1日、堺市東文化会館のフラットホールに130名の方が参加されました。19年10月開催の第1回学習会に続き2回目の学習会となりました。1回目に引き続きたいへん熱い議論となりました。三つのグループでの話し合いの概要と記念講演の北野さんの資料を掲載しています。これからもみんなで学び私たちの力にしていきたいと思います。

～目次～

開会あいさつ（野村友昭さん）……………1

〔提起と分科会まとめ〕

児童自立支援施設問題……………2

教育と政治の関係……………5

図書館の危機……………7

〔講演〕

大阪市廃止・4分割の住民投票にどう挑むか？……………11

閉会あいさつ（高橋 保さん）……………14

【開会あいさつ：野村友昭さん】

堺市議会が2月18日から始まります。今は新年度予算案がほぼできあがって、各市議に説明される段階です。今回の予算は新市長になって初めての予算ですので、どのような内容かということが、今後の堺市に大きな影響を与えることになります。政策的な予算は、分科会の中で色々と議論がされ、現職市議の方からも詳しくお話しもして頂けると思います。

一方で多くの施策、事業の予算が削られました。児童自立支援施設や百舌鳥・古市古墳群ガイダンス施設が白紙ということで、なかったことにしてしまう状態です。プラスの予算、マイナスの予算、それがどういうふうな影響を市民生活にもたらすのかということを、今日集まりの皆さんでしっかりと勉強も議論もして頂いて、堺市政を良い方向に導いて頂きたい。市民の力が市政を動かすことになります。私も皆さんと一緒に分科会に入ってお話しをしたいと思っています。

今日の分科会はテーマが3つです。もともとカジノ、大都市制度について、打合せの段階では皆さんと議論しようかと考えていたのですが、あまりたくさんのテーマになると議論が分散してしまいますので、堺市政に限ったテーマで分科会を構成させていただきました。

一方でお隣の大阪市では、いよいよ11月1日にどうも住民投票が行われるという方向で動いております。前回の住民投票は私も経験致しましたが、実は告示後の期間が3週間もありまして非常に長いのです。11月1日だったらだいぶ先のことだと思っていなくても、その3週間前には告示ということですから、おそらくオリンピックが終わったら、“よーいドン”で住民投票に向けた活動が本格化するだろうと想像しております。

今日はこの大都市制度について非常にお詳しい、私も非常に尊敬いたしております大阪市の市議員の北野妙子先生がお話をしに来てくれますので、ぜひ一緒に興味深く聞いて頂ければと考えております。

非常に盛りだくさんの内容ですけれども、最後まで共に学びたいと思います。



小堀清次議員による全体に向けての問題提起

全国的には、このような施設は国立 2 施設、都道府県立 50 施設である。



府との経緯では平成 17 年 5 月 10 日に確認書が交わされ、それから約 10 年

市長選で永藤市長の答弁は、あくまでコストの話に終始している。中断ありきではなく、メリット・デメリットを見ることが大切である。市長は知事との話し合いでのみ進めようとしているが、堺市の問題であり、市議会での議論も大切にしてもらいたい。市民の皆さんに背中を押してもらえれば、いっそう引き続きこの問題に力を入れたいと思います。

\*議員としての憤りとして最も強いことは、経緯からも含め、せめて男子 20 人、女子 10 人という案など、きちっと議会にかけろべきだと思う。すべて「知事と協議する」としか言わないことである。

児童自立支援施設は、児童福祉法及び同法施行令により、**都道府県と政令指定都市**にそれぞれ設置することになっており、**非行**などの問題行動がある子どもや生活指導を要する子どもを対象とし、**家庭的・福祉的なアプローチによって、個々の子どもの育ち**をおし立ち直り、**社会的自立に向けた支援を実施する施設**です。

堺市立児童自立支援施設基本計画より

	咸宁市	非行相談件数	年従1万人当り 非行相談件数	咸宁市	非行相談件数	年従1万人当り 非行相談件数	
1	大坂市	596	114.3	1	札幌市	145	33.1
2	堺市	222	102.9	2	千葉市	79	32.8
3	神戸市	206	87.6	3	川崎市	92	31.4
4	新潟市	153	80.0	4	福岡市	107	29.9
5	岡崎市	116	64.2	5	堺市	37	23.6
6	豊田市	183	63.7	6	松本市	44	22.5
7	横浜市	467	59.4	7	北九州市	52	22.6
8	名古屋市	297	59.3	8	仙台市	50	19.5
9	さいたま市	141	45.0	9	相模原市	32	19.0
10	広島市	109	38.2	10	浜松市	38	17.9

注：非行相談件数（平成26年度）は、平成26年10月1日現在のものである。資料：警察庁「犯罪被害実態調査報告書」。

市は「**広域的**で弾力的な運用が図られるため、**大阪府との協議**を進め、児童自立支援施設の実現に取り組んでいく」



\*建設予定地の場所のことであるが、まず環境として良いのかどうかである。そして地域住民の理解が大切だと思う。

\*予定していた地域の方々の状況は？

\* 話が二転三転してきた経緯がある。必要性の説明が不十分と言う点もあっただろう。土地のきめかたがトップダウン式で、市がきめてしまうという点の責任があっただろう。

\*子どもの数は10人～20人ということだがそれを超えたらどうなるのか？

\*他県、例えば徳島・和歌山・奈良というところに行くことになる。また人数を超えるという点だけでなく、同じグループの少年たちは別々の場所に措置することが望ましいので、堺にできることは他県から見ても選択肢が増え良いことになる。

\*子どもとの距離が近くなるという点では、保護者や先生が面会しやすくなるので、堺市内につくることの意味はとても大きいと言える。物理的に近いというのはとても大切な要因だ。また、市で施設を持つということは主体的に措置できるということでもあり意義深いし、周辺との市町村との融通もとりやすいメリットがある。

＊いずれ子どもたちは家庭に帰すのであるから、家庭の環境も良い方向になると良い。その時にはその家庭の地域との関係が良い状態であることが望ましい。地域に作ることの大切な意味がそこにもあると思う。

令和元年 8 月 2 2 日 永藤市長会見

児童自立支援施設です。児童自立支援施設、こちらも南区に計画をしておりまして、こちらが海蔵整備をして、こちらは中瀬をいたしまして、大阪府への事務委託について検討することになりました。

＊南区ではごみ処理施設なども含め、いろんな施設を受け入れているという不満が住民にある。また、自治会の説明で、警察関係の方が来られ「少年院」と説明して誤解を与えたりもした。その点は修正してきているが、  
＊地元との間では市が押し切ってきた点もある。

\*総論賛成、各論反対となってしまうがち。  
もっといろいろなことを教えてもらわない  
と賛成に持って行けないのでは？

\*子どもがどう成長していくのか、後を追いかける資料はないから数字では示しにくい。実証はむづかしいが、修徳学院では敷地内に小中学校もあり陸上部などのクラブ活動では全国でも優勝経験がある。

\*以前の土地の近くの住民間では賛否が割れ自治会が二つに割れた。いったん白紙になり、その後見学を2回ほどして、その上で

平成23年1月12日

・橋下知事発言

キャパシティ（収容能力）が足りないのに、堺市からの受け入れを続けているのはおかしい。令市としての責任をしっかりと果たしてもらう。

(堺市に)(児童自立支援施設)設置計画を年度内に立てさせる。今後は、無条件で委託契約は更新しない。

令和元年8月22日 永藤市長会見

児童自立支援施設ですね。児童自立支援施設、こちらをまた南区に計画をして  
おりました。**堺市内での施設整備**ということでは、**中断**をしまして、大阪府  
の事務委託について検討する。ことと大阪府は、この構想として、事業の実  
施方針、市民税という一度今ないのは、大阪府がなかってしまいがちで、大阪府と協同  
力することで前に進めたい。今年度、平成31年1月策定をしました。多岐立児童  
自立支援施設基本計画、計上されております。約**35億円の整備費用**も、**堺市のランニ**  
**ングコスト**というのを事務委託してあります。こちらを考えた場合、大阪府  
と連携を図ることを務めました。計上されて初めて協議をしていくことが必要で  
はないかと判断をした。大阪府知事の吉村知事に連絡をとりました。この事務委託  
をここで決まらざるを得ないという申し入れを施設整備機構へ検討する。この事務  
に絡んで協議できないという申し入れを施設整備機構へ検討する。この事務  
をしてもいい。児童自立支援施設の現状、状況についてまた報告をさせていただきます。

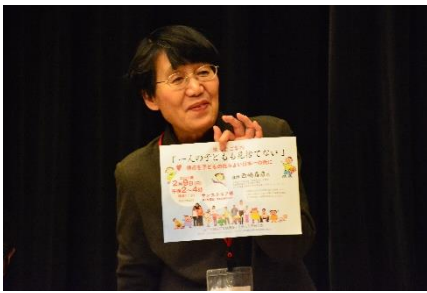
- [illegible]



進んでいる。地域も受け入れを考えてくれている。ので、今「えっ？あかんようになったの？」という声が出ている。

\*どんな施設を作る場合でも皆不安が先に立つから、伝える・知ってもらふ努力が大切だし、受け入れ側もきちっと知ることがいる。地域の反対で障害者の施設を断念した経験がある。

\*ネガティブキャンペーンが実際あった。いろいろと聞いている。



\*ある議員は、土地を買う時賛成しておきながら少年院のような施設とデマを飛ばし、訂正させられている。  
\*修徳学院には4年間勤めていた。犯罪をおかした子もいるし、虐待にあった子も、いろんな子がいる。しかし中学校から高校へ行く子もいる。疑似家族の中で、自分を見つける機会となっている。児相のケースワーカーは行く。

\*35億円すべてが堺市の負担ではない。大部分が国庫からの補助金などとなる。

\*地域で小学生にいたずらをした子がいて、行き場所のない子どもがいるんだなと思った。必要な施設だと思う。

\*堺市に建てることで先生方も通える。議論をたくさん積み重ねてきた計画なので中断と一言でされるのはおかしい。中断を再開に戻すのは難しい現状であり、その中でデマも飛ばされている。

### 「一人の子どもも見捨てない」堺市を子どもの住みよい日本一の街に 市民学習会 報告



2月9日(日)元修徳学院院長・現清心寮寮長の西嶋嘉彦氏の講演から

参加者は69名でした。それまで、講演会開催を広げるために、各方面にご依頼や街頭宣伝をしましたが、その中で、応援して下さる方とつながることができました。この日も遠く泉北からも来て頂いたりと各方面からの参加がありました。

西嶋先生の情熱溢れる講演は、20年間の生きざまそのまのお話で、本当にたくさんの子育てエキスが詰まっていました。教師も保護者も育て直しのかかわりをされてこられた福祉関係の方々など参加者は皆、思い当たることや、改めて気が付くこと、またこれから役に立つことが整理されたのではないのでしょうか。子どもを育てるということには境界線などなくすべての子どもに言えることだと再認

識できた場になりました。つまり、「児童自立支援施設」というのは、子どもたちが健やかに育つことが大変困難になっている現在、すべての大人の課題、社会全体の責務だということを示してくれたのです。

感想文にもそのようなご意見がいっぱいありました。堺市には当然あるものだと思っていた若い方もおられました。南区での宣伝をしていた時、「遠いので南区でやって欲しい」との声がありました。(後日、感想文を持ってお礼に伺った時、「南区での小集会などが企画できればまた来て頂けるでしょうか」とお尋ねしたところ、前向きなご返事が返ってきてとてもうれしく思いました。)

休憩時、参加者に質問を書いて頂き、後半西嶋先生に質問に答えて頂きました。その後、会場からの意見交換をしました。活発に途切れることなく意見が出ました。

最後に、今後の行動提起として、新しく作成した【自立支援施設を知ってもらい、建設推進を堺市に要望するチラシ】を持ち帰って広めて下さいとお願いしました。保護司の方が500枚持ち帰って下さるなど、皆さんとても積極的に対応してくださいました。

2月18日早朝のスタンディング行動にもたくさんの参加がありました。駅頭宣伝も続けており、飛び入り参加もあります。次の行動の中身を考えるのは3月23日(月)6時半より、総合福祉会館にて行います。



## 教育と政治の関係

### 全体会での湧上猛志議員による問題提起

永藤市長による政治の教育への介入と教育の民間への切り売りは問題。

政治への介入 ・組体操「禁止の意向」と議会で表明  
これを受けて維新議員は「市長の指示は絶対」と後押し。

さらに同議員は

- ・「仰げば尊し」を卒業式で！
  - ・運動会での「君が代」斉唱を！
- などと、議員が学校教育に介入の動き。

民間への切り売り

- ・オンライン英会話の導入 PC でネイティブによる1対1の授業

これらに対し「市長の指示は絶対化」と追及。

これに対し、市長は「指示ではない」「絶対ではない」と答弁。押し返す。



### 分科会で討論と意見

- ・中学校でのチャレンジテストの導入で、利権のために教育が利用されている。この正当性に疑問がある。府内で数万人が受験し採点はどうするのか？

しかし、教員は多忙化が進んでおり、問題の内容も問題になっていない。

- ・子ども食堂のスタッフをしているが、子どもの権利条約に基づく条例が堺市にはない。自治体に明記させて点検していく事が大事なのではないかな。

- ・歴史教科書の採択では議員からの圧力が強まったことがあった。圧力はあったが当時「意見は聞くが公開の委員会の下で決める」と対応した。政治が教育のあり方を左右するようなことがあってはならない。

- ・堺市の教員は非正規の比率が多く全国第4位の低さだ。
- ・永藤市長の発言は衝撃だ。道徳の教科化とかの影響はあるのか？

- ・維新は成果至上主義でありここに問題がある。オンライン英会話・教育バウチャーでいいのか？むしろ、全体の底上げが大事なのではないのか。

- ・本会議大綱質疑の最後で維新議員が発言したのが先の内容だった。最後なので本会議での質問ではこれを追求できない場で、ああいう内容の発言をすることは問題。



私が危惧する  
維新市政の教育のこと

### ①教育現場への政治の介入

#### ②民間への切り売り



現場の疲弊 意欲・創意工夫の低下  
教員の堺市離れ 学力(テスト)至上主義  
課題のある子の置き去り 既得権の形成

一例としての組体操



2019年12月9日 大綱質疑より (速記録より)

#### 運動会・体育大会における組体操の在り方について

永藤市長の指示を受けまして、実際に組体操を中止している学校もあるんですね

教育の中立性ってのを掲げてね、政治が介入すべきじゃないっていう主張ありますけど、これは違いますよ。

市長は、止めるようにという話をしてるんです

なぜ市長の指示に従わないんですか

市長の指示は絶対なんです。民意を反映してるんですから。

文教委員会で確認したポイント

組体操の制約は、市長の指示だったのか？

教育委員会への市長の指示は絶対なのか？



首長(政治)は、教育現場に介入できるのか？



確認した法令

地方自治法第138条・180条…教育委員会の設置根拠

教育基本法第14条…教育の政治的中立

地方自治法第180条の8…教育委員会の事務

地教行法第22・23条…首長の権限

地教行法第21条…教育委員会の権限

運動会での組体操は、  
21条の教育課程や学習指導に該当





そこで、文教委員会での質疑で追求しこの内容のすべてをひっくり返した。維新議員の暴走が始まっているように思う。市長でもコントロールが効かない状況になっているのではないか。



市長の「指示」だったのか？  
そもそも指示する権限はあるのか？  
組織マネジメント上、問題だったのか？

「指示」ではない。  
市長に指示する権限はない。  
よって、組織マネジメント上、問題なし。



永田市長

・自衛隊の募集について  
市長は「今後は一括提供指示」としている。

・教育の政治介入や民間化は反対だ。教育は独立したものであって時の政権によって左右されるものであってはならないと思う。

・大阪市の教育長とも話したが、「今、現場が疲弊している」という現実がある。言い訳になるが、非正規については堺市の教員の年齢構成の問題がある。そこは理解をしてほしい。

市長や議員が教育の問題についてあれこれと大綱質疑でも質問する。しかし、市長は大綱方針を出すし教育長や教育委員の指名にもかかわる。ここが重要だ。成果主義の人を組み入れていくという事を維新はしていくだろう。見ておかなくてはいけないと思う。

・今年は中学校の教科書採択の年であり注目していくことが重要だ。

等の意見が次々と出され、維新市長と教育とのかかわりでは危機感を持った議論が続きました。

堺市と堺市議会は、維新による「教育条例」提案をこの間否決し続けており、市長による教育への介入を防いできた府内ではただ一つの自治体です。ですから、維新勢力は「実態としての教育支配」に道を開こうとしているのではないかと危惧されます。

現場の多忙化と疲弊状態は、教育の当事者である教職員が教育介入に反対する気力と体力を奪っているのではないかと思います。

議論を通じた感想ですが、現場教職員の参加と市民との共同をつくり上げていく事が大切と思いました。



### 地教行法23条

(首長の職務権限について)

#### 一 スポーツに関する事

(学校における体育に関するものを除く)

### 地教行法1条の3

(大綱の策定について)

地方公共団体の長に対して、第21条に規定する事務を管理し、又は執行する権限を与えるものと解釈してはならない。

しかし、教育現場への政治の介入は、すでに始まっている。

#### ①市長の意向(指示?)で始まる、オンライン英会話

- ・ヘッドホンをつけて外国人と会話
- ・教師は見守るのみ
- ・民間企業へ委託



#### ②卒業式では「抑げば尊し」を歌唱すべき

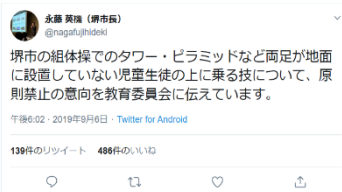
「抑げば尊し」は、日教組による排撃の対象となった

#### ③運動会で国旗を上げるときには、校歌ではなく、国歌で上げなさい

全小中学校の掲揚の仕方を調べるように

介入はまだまだ始まったばかり・・・

### 教育を守るため市民の意識も問われている



## 図書館の危機

### (問題提起)

### 図書館の危機

2020/2/1 堺市の図書館を考える会 巽 照子

#### はじめに

公共図書館は、転換期をむかえている。インターネットの急速な広がり、瞬時にして大量の情報を手にすることのできるチャンスを人々に与え、情報拠点としての公共図書館の存在意義を問うことになった。公教育の市場化で図書館に求められるのは、「賑わい」、人が集まる図書館である。

地方自治法 1 条の 2 の 1 にある「地方公共団体は、**住民の福祉**の増進を図ることを基本として、略・・・」と一人ひとりが幸せに生きることを追求し、そこに図書館の活動もある。(図書館法 23 条、社会教育法 69 条、教育基本法 12 条、日本国憲法 19 条 21 条 23 条 25 条参照)

2019 年夏に見た映画『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』ここには社会インフラとして、市民生活に密着した多様なサービスを提供するようすが映し出された。国境や言語、思想や宗教の壁もなく、あらゆる人種、民族に属する人々が積極的に図書館生活を楽しむ姿は**民主主義の砦としての公共図書館の未来**である。

#### 1、図書館の危機が・・・

1990 年代後半以降、「官から民へ」「地方分権」「規制緩和」の名の下で自治体や教育・文化行政のあり方に関わる法改正の動きが出ている。

1999 年 7 月「地方分権一括法」の中で図書館法も改正(図書館長の要件緩和)されてしまった。2003 年には地方自治法が改正され、指定管理者制度が導入され、本来、自治体が住民に対して直接責任を負うべき行政サービスである図書館業務が、まるごと民営化が可能になった。2019 年には第 9 次地方分権一括法の成立により、教育委員会所管の図書館を博物館、公民館などと共に、首長部局へ移管することも可能になった。このままでは、公教育、文化行政が崩壊する。

政治的中立性、継続性、安定性の確保、地域住民の意向の反映、学校教育等との連携などの点から問題があるとして、多くの社会教育関係者から反対の声が上げられたが、法律は成立してしまっただ。国や自治体は、これにより「文化・観光振興や地域コミュニティの持続的発展等に資する」というが、図書館の役割や社会的使命はどこへ行つたのだろう。2019 年の 12 月末に驚きのニュースが入ってきた。

2020 年はオリンピック・パラリンピックの年。もう一つ「学校図書館年」と制定するよう取り組みが進められていた。

2015 年施行の改正学校図書館法で「努力義務」とされた学校司書の配置は全体の半数程度にとどまっている。このため「文字・活字文化推進機構」が働き掛け、衆参両院で全会派が了承した形で学校図書館議員連盟は、昨年 12 月の臨時国会に「学校図書館年に関する決議案」提出・採択するための調整を進め、最終案をまとめようとしていた時に「日本維新の会」から決議案提出に反対することが伝えられた。

日本維新の会の反対理由は、①学校司書の配置推進は、公務員の増員につながる。また図書館の司書は近い将来、AI にとって代わられる業務であると考え。②学校図書館は不要であること。

この日本維新の会の見解は積み重ねてきた運動の成果である学校図書館への司書配置の動きを止め、一人ひとりの子どもの学ぶ環境づくりを後退させることになる。この日本維新の会の動きに対して、学校図書館の充実を求める賛同団体とともに教師、市民、図書館関係者がよりつながりを強め、運動を進めていくことが求められている。

今後も国の動きを注視し、図書館の発展を求め、利用者のサービス低下をきたさないように、正職員の重要性、司書の専門性を重視する取り組みを続けなければならないと思う。

この危機の中で、図書館の役割を考えて、法制の問題点や国際情勢、日本の将来像についてなど時事について資料提供(ブックフェア等々)していつてほしいと切に思う今日この頃である。

#### 2、一人ひとりの幸せにつながる図書館づくり

##### ○堺の図書館のはじまり

堺市立図書館は、誇れる 100 年の歴史がある。開館は 1916 年大正 5 年 6 月。初代館長今井貫一氏は大阪府立図書館長と兼務。室戸台風(1934 年昭和 9 年)により館舎大破し、新館建設(1936 年昭和 11 年)をした。初代専任館長田島清氏を迎えて 戦時下、「天皇陛下」と国内における精神運動の昂揚の一途をたどっている中、科学運動をおこす必要を説き、蔵書中に科学文献を充実整備した。その後、空襲(1945 年 7 月 26 日)にあうが書庫の全蔵書を守る。

『回想のなかの図書館—中之島から宿院へ—』田島清著 広文堂より



## ○ 図書館づくり

大仙公園に現在の中央図書館(1971 年昭和 46 年 7 月 20 日)が開館した。開館当初と翌年 2 年間で司書採用 20 名あり、若い職員で活気があった。当時図書館職員 37 名で 2 館と移動図書館運営していた。新しい図書館像『市民の図書館』(日本図書館協会刊)を実践していこうと、大阪府立図書館から出向館長栗原均氏を迎えての 3 年間、司書職員は自発的に意欲を持って時間外に学習を重ねた。時間内研修「児童奉仕研究会」(児童サービスの研修会)も保障され、市民参加での学習会は司書としての専門職員が育っていった。そうした中で市民団体が生まれた。・図書館友の会(1973 年昭和 48 年～)・堺市子ども文庫連絡会(1978 年昭和 53 年～)・堺市の図書館を考える会(1981 年昭和 56 年～・学びを広げる学校図書館の会・堺(1995 年～)

## ○ 職員と市民が協働して作っていく図書館

- ・「堺市の図書館を考える会」は、「堺市子ども文庫連絡会」や、「学びを広げる学校図書館の会・堺」の市民グループの人たちとともに、市民にとって望ましい図書館像を明らかにし、一刻も早い中央図書館の建設を望んで活動している。
- ・毎年、図書館行政の充実を求めて、市議会に①資料費の充実、②継続的な司書採用、③図書館協議会公募委員について、④学校図書館の充実等について陳情書を提出し、市及び教育委員会に訴えてきた。
- ・図書館協議会公募委員も 2015 年に実現し、更なる増員に向けて取り組んでいる。
- ・学校図書館については学校司書の配置とシステム化を望んでいるが、なかなか進まない。
- ・近年は中央図書館の建替え問題に力を入れ、図書館の所管問題(教育委員会の所管維持)にも取り組んでいる。
- ・毎年、陳情書を提出し、議員に面会し、図書館問題への関心と理解を深める取り組みを行い、市議会で図書館問題が取り上げられることが多くなっている。

○指定管理者制度導入の動き(2005 年平成 17 年新設東図書館で)がでてきたが、市民運動と職員の方で直営に戻した。

カウンターには職員を配置し、市民とのコミュニケーションをとりながら情報提供をしっかりしていこうと確認された。

## 3、堺の図書館 これから

- ・堺市の図書館の現状(平成 30 年度末)は、市内 14 か所(中央図書館、地域図書館、分館等)の図書館と移動図書館 1 台の運営。蔵書冊数全館 1,952,885 冊・予算 図書購入費 86400 千円、・職員においては、1997 年当時は正規職員 120(司書 100)名体制から、正規職員 64 名(内司書 53 名)に減少、全職員は 110 名(2018 年)と半数が非正規職員である。中央図書館は築 49 年となり、老朽化し、利用に障害をきたしてきている。「早く、市民が利用しやすい中央図書館を建て替えてほしい」との市民の声も多い。そんな中、中央図書館長から図書館協議会に諮問され、堺市立図書館計画が策定され、「今後の中央図書館のあり方」について(答申)が(2018 年)平成 29 年 3 月に出ている。堺市立図書館の 100 年を検証し、
- ・一人ひとりの市民が幸いなるまちづくりを見据えて、中央図書館立て替えるを検討していく必要がある。

## 4、市民とともに歩む図書館づくり

○今、自治を担う「人」が育つことが重要であると考えている。しかも息を吹きこみ、力を発揮させるためにはこの「人」は「自分だけ」の幸せを大切にせず、狭い共同意識の持ち主ではなく、みんながよりよく生きていくための助け合いの共同関係を大切にする人で、感性、創造力、行動力を発揮する存在となっていることが大切なのである。住民自治が尊重されるためには、情報公開や共同参画の機会が与えられるなど「公」の働きが整っていることが重要で、その中には図書館の仕事も包含されている。しかし、もっと深く、もっと広い意味で、図書館として自治を支えるという視点をもった取り組みが大切だと考えてきている。

自分の住む街が今に至ったいきさつから、自分たちの取り組みを通して創り出されるべき地域の未来までを展望できる長さや広さを住民自身が持つこと。また自分たちの現実にある歴史的に積み上げられてきた素材や資源、知恵と力をフルに活用して、地域像を共有していくこと。このことにどう関われるかである。

だれもが自立した存在として社会に参加し、発言することは、民主主義を豊かにするために大切なことではないだろうか。

そして、これからの図書館員に大切なことは、まちづくりに関わり、ひとつの問題を解決するために異なった多数の価値や判断をつきあわせる「交流」の場づくりや粘り強くコミュニケーションを重ねることである。

## ○未来を担う子どもたちに

子どもたちが豊かな人間性を持って生きる力をたくわえながら成長していってくれることは、今を生きる大人の暮らしをも豊かにすること。さらには、次の世代に繋がるロマン。人間にとってとっても大切なことの想いをさらに深くして、一歩でも、二歩でも一人ひとりが幸せに繋がることを支える図書館づくりを考えていきたい。

助言者 巽照子さん、清水昭治さん（堺市の図書館を考える会）  
全体会で巽さんの問題提起を受け、意見交換をしました。

（堺の図書館データ）

- ・ 100 年の歴史がある
- ・ 本館 7 か所（中央、東、西、南、北、中、美原）、分館 5 か所（堺市駅前、東百舌鳥、初芝、榎、美木多）、図書室 1 か所（青少年センター）と移動図書館
- ・ 蔵書数 約 195 万冊 予算（図書購入費）8,640 万円
- ・ 職員 正規職員 64 名（うち司書 53 名）、全職員は 110 名（2018 年）

←1997 年は正規職員 120 名（うち司書 100 名）

（学校図書館について）

#### ・分科会での石本京子市議からの問題提起

「学校図書館整備 5 か年計画」（文部科学省）が策定されましたが、堺市の学校図書館の司書配置は、なかなか進みませんでした。しかし 2 年前、中学校 2 校に 1 人の割合で司書が配置されました（21 人）。司書は 1 校あたり 1 日 4 時間、週 2 日勤務ですが、子ども達が本に触れることができ、さまがわりしました。本を読むことで読解力がつきます。今後は小学校にも配置されるよう取り組んでいきたいです。



問 学校図書館に司書を配置する意味をもう少し聞きたいです。

答 教員の多忙化のため、学校司書に教員を専任配置することは難しい状況。学校司書は、府内では豊中、箕面、羽曳野、熊取など、神戸市や横浜市も 1 校 1 人配置が実現しています（文部科学省も 1.5 校に 1 人配置の方針）。子ども達が公共図書館へアクセスできるかは、住んでいる地域や家庭環境に左右されますが学校図書館なら全ての子どもが利用できます。学校司書が配置されれば、子ども達へのアドバイスや、教員の教材づくりもできます。

（中央図書館について）

- ・ 市長が替わったあと、図書館に関わって何か動きがありましたか？
- ・ 中央図書館建替に関わって、中央図書館の諮問機関である図書館協議会では「指定管理者制度の導入は認められない」（2017 年）と答申していますが、市議会では維新議員がこれを「偏った考えだ」とし、協議会メンバーの人選を考えるべきと述べました（2019 年 9 月市議会文教委員会）。今後注視する必要があります。

- ・ 和泉中央の図書館は広くて使いやすいが、大仙公園の中央図書館は貧弱だ。
- ・ 堺市全体の図書館である中央図書館は老朽化のため建替が必要です。中央図書館基本構想が検討されています。どんな図書館にするのか市民の議論が大切です。図書館を考える会では、幅広い層であり方を考えたいと思っています。

（公共図書館について）

- ・ 堺市の司書数は他市と比較してどうですか。
- ・ 政令市と比較すると、堺市の司書数は上位（多い）ですが、13 館で 53 人は少ないですし、図書購入費 8,640 万円（平成 30 年度）も低水準です。

意見

- ・ 図書館のサービスが職員によってバラツキがある。現場の危機感を聞いてみたい。
- ・ 堺市も公文書館を作ってほしい。歴史的資料を集め、市民が知れるようにしてほしい。
- ・ 乾市議 市議会で各地の民間委託された図書館の視察に行く。広いスペースや子どもが遊

べる広場、最新の貸出返却システムなどに目を奪われるが、一方で高額の委託料を支出している。民間委託が本当に良いのか。直営と委託の見極めが必要です。

・小3、小1、0歳の子どもがいます。休日に子どもを無料で連れて行ける公園や図書館はとてもありがたい。しかし、公共図書館が家から遠く、なかなか行けない。学校図書館で借りられるのは魅力的。移動図書館もいいと思う。子どもにとって本を選べるのはとてもうれしいこと。

・私は保育に関わってきました。本が子どもの心を育てるのにとっても大切だと感じています。子どものために図書館のことを考えていきたいです。

・図書館に勉強スペースがほしいとの声も中高生からあります。

・交通の便が悪く、図書館に行けない。堺市議が市議会質疑で堺消防署が移転した跡地（大小路）に図書館建設を求めている。ぜひ運動していきたい。



### （司会者のまとめ）

分科会では、「堺市図書館の現状への要望」「図書館の民営化の問題」「学校図書館の問題」など多くの意見が出されました。

1971年に大仙公園に建てられた中央図書館の建替問題では、公文書館を作してほしい、芸術・音楽とを融合した図書館のビジョンを考えたいなど、市民の意見を取り入れてほしいという声がありました。

堺区図書館を大小路に作してほしい、移動図書館をもっと増やしてほしい、との声もありました。

法改正により、図書館の管理が、教育委員会から首長部局に移管可能となりました。移管により民営化の可能性が高まる恐れもあります。指定管理者化を阻止した堺市東図書館の例（2005年）にも学ぶ必要があります。

図書館の要である司書が、20年前と比べて半分に減っています。司書はただ機械的に図書館で本を貸すだけでなく、図書館サービスを深くつかみ、人の成長に関わります。

堺市の公共図書館を利用する子どもは30%と言われており、子どもの学びを支える図書館サービスの充実も今後の課題です。

中学校図書館は2校に1人、21人が配置されていますが、学校図書館をもっともっとできる場所にしていくため、今後も課題が残っていると思います。

子どもの読書活動は「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」（「学校図書館年」決議（案））。この言葉に私も共感します。

そして自分の娘にも素晴らしい読書体験をさせてあげたいと願っています。堺市の図書館の充実を求めて、微力ながら私も、この運動に参加させて頂きたいと思います。

巽さんは「本来の図書館とは、一人ひとりの願いを持ち寄って、市民と図書館職員が共同で創り、そのことがみんなの幸せにつながるものである」と問題提起されました。私たちが図書館の職員の方と一緒に良い図書館を作っていくことが大事なのだと思いました。





[講演]

大阪市廃止・4 分割の住民投票にどう挑むか？

大阪市会議員 北野たえこ

「大阪市廃止・分割の  
住民投票にどう挑むか」

@堺市東文化会館 2020年2月1日  
大阪市会議員 北野たえこ

第30次地方制度調査会での議論など

国会議論…**住民投票**が必要なのは「格下げ」になるから

大都市法制定時の国会での議論でも、法案の提案者の一人として佐藤茂樹衆議院議員が平成24年8月7日の衆議院総務委員会における答弁(議員立法だから答弁者は議員)

「住民サービスの提供のあり方というのが大きな影響を受けるわけですね。特に指定都市が今回廃止になるという、大阪市のような場合、そういう場合については**権限や税財源の面でいわば格下げ**とも言える事態が生じて、通常の市町村合併以上に住民の生活等に大きな影響があると考えられます。」

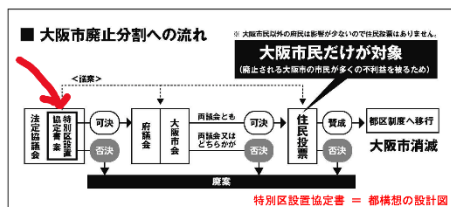
第30次地方制度調査会での議論など

都構想は「茨の道」

第20回専門小委員会での太田専門委員の発言

「**大阪市民があえて茨の道を行くというときに**、いいと考えるのか、いやいや、あなたたちは一応、特別地方公共団体なのだから、要するに基礎的な地方公共団体というほうがこの場合は重要ですね、国としてそういう無茶はしなさんなというか、茨の道は行きなさんなと。大阪市全体になっていたほうが基準財政需要でもそこそこのレベルのものを保障してもらえるのだから、やめなさいというべきなのかというのは、私にはよくわからないところがあります。茨の道でも行きたいというのだったら行かせればと思う自分もいるわけですよ。」

住民投票は「特別区設置協定書」の是非を問うだけ。  
理念を問うものではない。  
住民投票の対象は「大阪市民だけ」です。



法定協議会、府議会、大阪市会、住民投票で問われるのは、「特別区設置協定書」に「賛成」か「反対」かだけで

大都市制度を考えるための基本事項

道府県の役割と基礎自治体の役割(地方自治法)

都道府県が処理する事務 (地方自治法第2条第5項)

※ 全国知事会「地方分権下の都道府県の役割—自治制度研究会報告書—」(平成13年7月) P17~P18を引用し川崎が作成。

広域	広域にわたるもの	市町村の区域を超える事務、数市町村にわたる事務、都道府県の区域全体にわたる事務、全国的な事務のうち都道府県の区域におけるものの全てを含むもの
連絡調整	市町村に関する連絡調整に関するもの	国等と市町村との間の連絡調整、市町村相互間の連絡調整等の事務
補完	その規模又は性質において一般の市町村が処理することが適等でないもの	「その規模又は性質において一般の市町村が処理することが適当でない」と認められるものであり、事務の規模が大きく、その処理に大きな財政負担を生じ、一般の市町村ではその負担に耐えられないもの、事務の性質から高度な技術力や専門的な能力を必要とするために、一般の市町村で各自必要な人材等を確保して処理することが困難又は著しく非効率であるもの等である。ただし、この補完事務については、市町村の規模及び能力に応じて、市町村でも処理することができるとされている(第2条第3項)

基礎自治体優先の原則

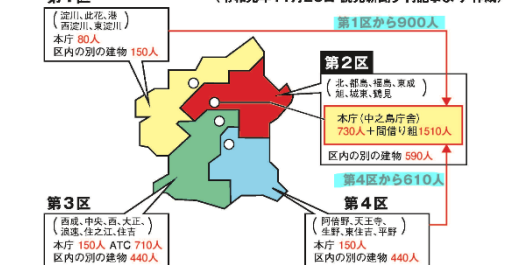
広域自治体と基礎自治体の役割分担において、基礎自治体に事務事業を優先的に配分する補完性・近接性の原理に基づく地方自治制度の基本原則。

※ 指定都市市長会のホームページ「用語解説」より



#### 4 特別区の本庁職員の配置数

第1区 (令和元年11月26日 読売新聞夕刊記事より作成)



※ 府・市の資料を基に作成。数字はすべて概数。 ※ 地域自治区の事務所の人数を除く。

中之島庁舎をフル活用することで、区域外に職員がいる特別区が発生する。  
(離島なみ)  
これにより、特に防災上の問題が大変大きいことが明らかになった。



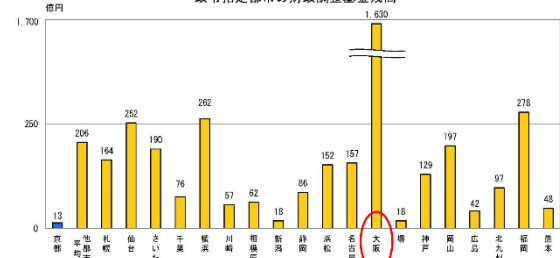
### (3) その他【提言】

- ① **【一部事務組合】**  
システム・介護保険については、一部事務組合ではなく、各特別区に事務を配分すべき
- ② **【事務分担】**  
消防・水道については、府域全体の状況（広域化）に応じ段階的に移管すべき
- ③ **【組織体制】**  
職員数の積み上げによる算定を行うべき
- ④ **【財政調整】**  
臨時財政対策債は地方交付税（市町村算定分）の交付団体となる大阪府が発行すべき

団体となる大阪府が発行すべき

京都市の資料より

政令指定都市の財政調整基金残高

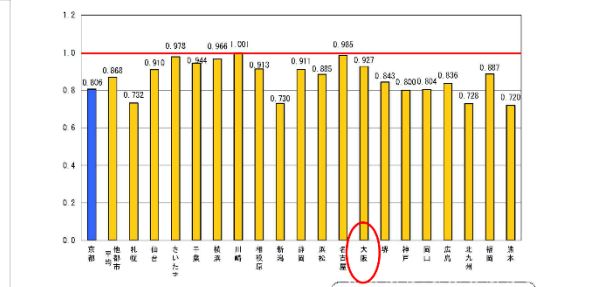


大阪市は市債返済のための減債基金は法定通り積み立てており、さらに、いわゆる貯金にあたる財政調整基金の残高が1630億円あり、資金的な面から見ても健全な財政状況にある。

(出典) 京都市「平成29年決算参考データ集」より（閲覧：2020年1月27日）  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/voza/cmsfiles/contents/0000172/172624/date29.pdf>

京都市の資料より 政令指定都市の財政力指数

京都市の資料より 政令指定都市の財政力指数



大阪市の財政力指数は0.9を超えており、地方交付税の不交付団体も視野に。

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$$

〈出典〉京都市「平成29年決算参考データ集」より（閲覧：2020年1月27日）  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/evoval/cmsfiles/contents/0000172/172624/date29.pdf>

## 減っています。大阪市の借金



〈出典〉 榎本義博ブログより（2020年1月27日閲覧） <http://blog.livedoor.jp/yamagimotoakira/archives/532610>

## 總括的主張

- ・二重行政解消、広域一元化による**効果額**が示されていない。
- ・特別区は、職員数・防災面など非常に脆弱で**住民サービスの低下**という大きなリスクをかかえている。
- ・唯一の特別区が成り立つ根拠である財政シミュレーションは特別区の財政を保障しない。
- ・大阪府民にも影響が及ぶ可能性がある。

13



## 【閉会あいさつ：高橋保さん（元堺市副市長）】



今日は、改めて何も私が申し上げることがない位にすばらしいお話を下さった「北野さんが北野田に来たのだ」ということで言い表せるのではないのでしょうか。

一言だけ申し上げます。維新が進めている行政、それがそのまま自治破壊だということです。そしてそれは堺市だけのことではないのです。この堺市が頑張れば、それを阻止することができるかもしれない。この熱気を一時なものではなくて、しっかりと市政に反映させることで、その橋頭保を築くその覚悟を改めて私たちが固めあった。それぞれが胸の内にしっかりと収めて、なすべきことを分科会でお話し頂いたことを具現化する、実現していく、そのために明日から一歩一歩頑張りますという決意を申し上げて、今日の閉会とさせていただきます。

## 市政を刷新し清潔な堺市政を取り戻す市民 1000 人委員会

### 【会計報告】

自 2019/04/25 至 2020/02/29

〔収入の部〕	賛同金収入	1, 411, 200円	
	販売収入	231, 100円	（『振り返りレポート』『市政レポート第1号』）
	事務所カンパ	2, 224, 710円	
	収入の部合計	3, 867, 010円	
〔支出の部〕	市長選活動費	1, 409, 668円	（市長選臨時専従6名）
	会議・集会費	233, 978円	
	通信費	564, 202円	
	印刷費	584, 834円	
	雑費	11, 389円	
	支出の部合計	2, 804, 071円	
	〔差引残金〕	1, 062, 939円	
（内訳）	現金	36, 244円	
	郵便振替口座	741, 002円	
	ゆうちょ銀行	1, 333, 730円	

# 賛同人の皆さん方、2020年賛同金（一口500円）をよろしくお願いします。

\* 郵便振替口座：記号00950-6-番号276148

加入者名：堺からのアピール

\* ゆうちょ銀行 記号：14130 番号：30681501

加入者名：堺市民活動サポート基金

# 他の金融機関から振り込む場合は、

【店名】ヨニイチハチ（四一八）【店番】418【口座番号】3068150（7桁）

## 市政レポート第 2 号

～たたかう堺市民～

2020 年 3 月 10 日発行

編 者 市民 1000 人委員会

発行者 市民 1000 人委員会

〒590-0959

大阪府堺市堺区大町西 3 丁 1 番 29-502 号

TEL 072-229-6331

FAX 072-242-6315

Email QYD04504@nifty.com

写真提供 F.T さん

振込先

■加入者名：堺からのアピール

郵便振替口座：00950-6-276148

■加入者名：堺市民活動サポート基金

ゆうちょ銀行口座：14130-30681501



# たたかう 市民は二歩進みました

頒 価 300円